

# 外宮のご案内

前回に続いて伊勢神宮、外宮のご案内です。

ガイドをして下さるのは:伊勢志摩ブロック代表の中川道子さんです

# 豊受大神宮

外宮

とようけだいじんくう (げくう)

天照大神のお食事を司る神の豊受大神をおまつりしています。  
内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。



**御饗殿 おけでん**  
毎日朝夕の2度、天照大神・豊受大神を始めとする神々をお祭りするための御膳、お供えする神饌(しんせん)は、毎朝おこなった清浄な火「忌火」(いみび)を使用して忌火屋敷で調理される。

**正宮 しょうくう**  
正殿を中心とする社殿は内宮とほぼ同じ様式ですが、欄木は9本で千木は垂直に切られています。また、社殿の配置が異なります。

**土宮 つちのみや**  
大土乃御祖神(おおつちのみやのみかみ)をまつる別宮(べつぐう)です。古くから山田原(やまだのはら)の鎮守(ちんじゆ)の神としてまつられ、外宮創建後は宮城(みやぎ)の地主の神としておまつりされています。

**風宮 かせのみや**  
風の神をおまつりする別宮(べつぐう)です。鎌倉時代の元寇(げんごう)の時、神風(かみかぜ)を吹かせて日本をお守りになった神として知られています。

**多賀宮 たがのみや**  
豊受大神(とようけのおおみかみ)の荒御魂(あらみたま)をおまつりする別宮(べつぐう)です。山の原(ののら)にあるため古くから原宮(はらのみや)と呼ばれていました。

**神楽殿 かぐらでん**  
ご祈禱(ごとう)のお神楽(かぐら)や御饗(みけ)を行う御殿(みでん)です。お札やお守りも授与しています。鎌倉時代風の屋根が美しい建物です。

**手水舎 てみずしや**  
参拝前に心身を清めます。手水(てみず)の作法は、左手・右手の順で手を清め、左手に水をすくい口をすすぎ、最後に左手を洗い流しましょう。筋約(ひしやく)に直接口をつけないのが礼儀です。

**せんくう館 休館中**  
式年造営の資料館です。外宮正殿の模型・神家の複製工程・造営祭の様相などが展示されています。シアター・検票コーナーなども充実しており、神宮や神楽について深く知ることができます。休憩所から望むことがまじの景観も美しく、観合では観月会などの行事が催されます。

**せんくう館 利用案内**  
入館時間: 9:00~16:00 (観覧は16:30まで)  
休館日: 毎月第4火曜日(祝日の場合は翌日)  
電話: 0596-22-6262

- …火除橋より域内禁煙
- …喫煙所
- …駐車場
- …公共トイレ
- …撮影禁止
- …車椅子貸し出し所
- …ペット預かり所

## 神宮 -お伊勢まわりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。



**神宮司庁 広報室**

〒516-0023 伊勢市宇治町1番地 ☎0596(24)1111(代)  
http://www.isejingu.or.jp/

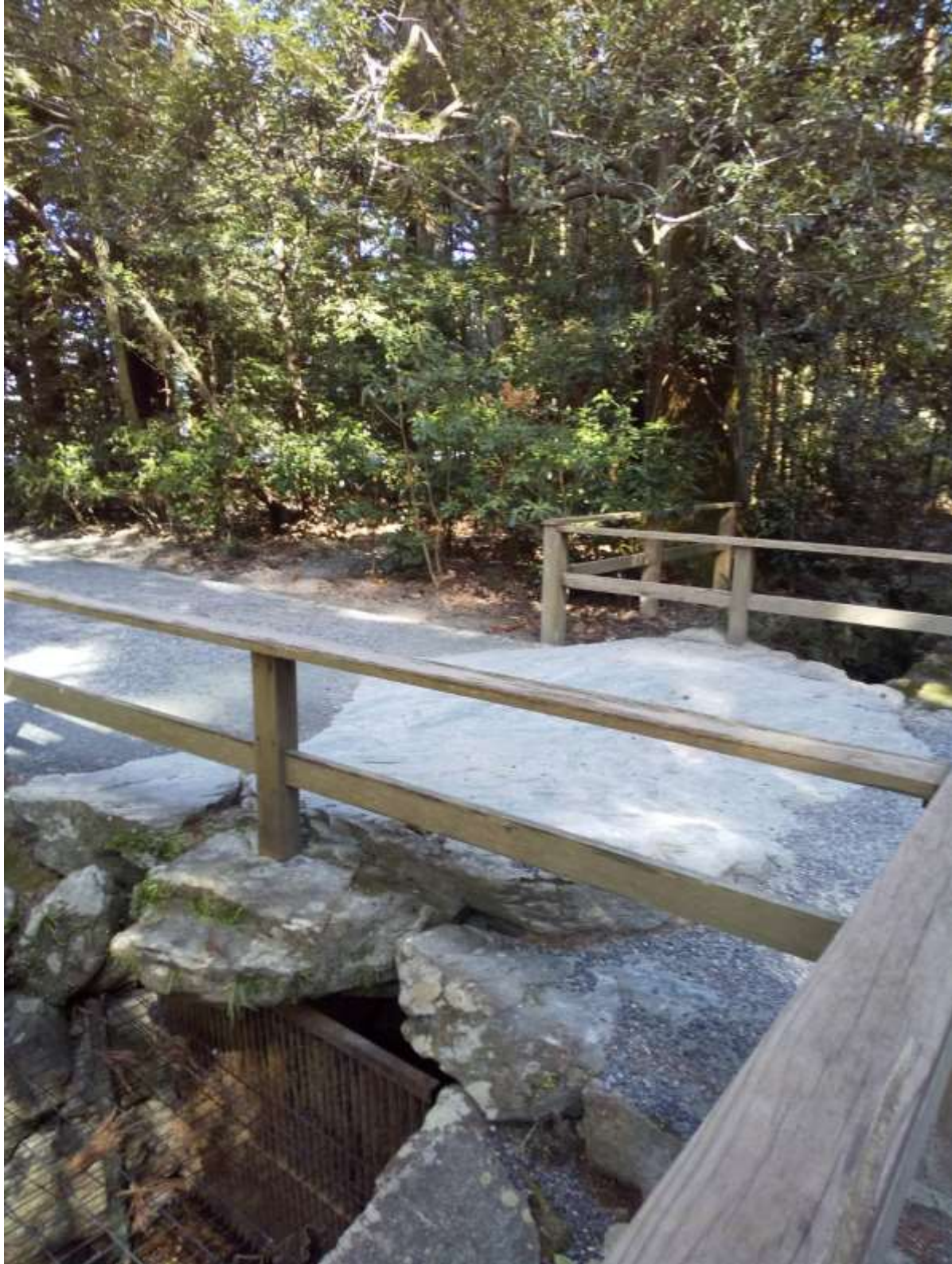


三ツ石



10月4日、外宮川原大祓。三ツ石前で修祓の祈願をし、御装束神宝などが入った辛櫃と神職らを清める。左手前は小柱に緋袴と王朝時代を思わせる礼装の黒田清子臨時祭主

三ツ石での大祓







たかのみや  
多賀宮

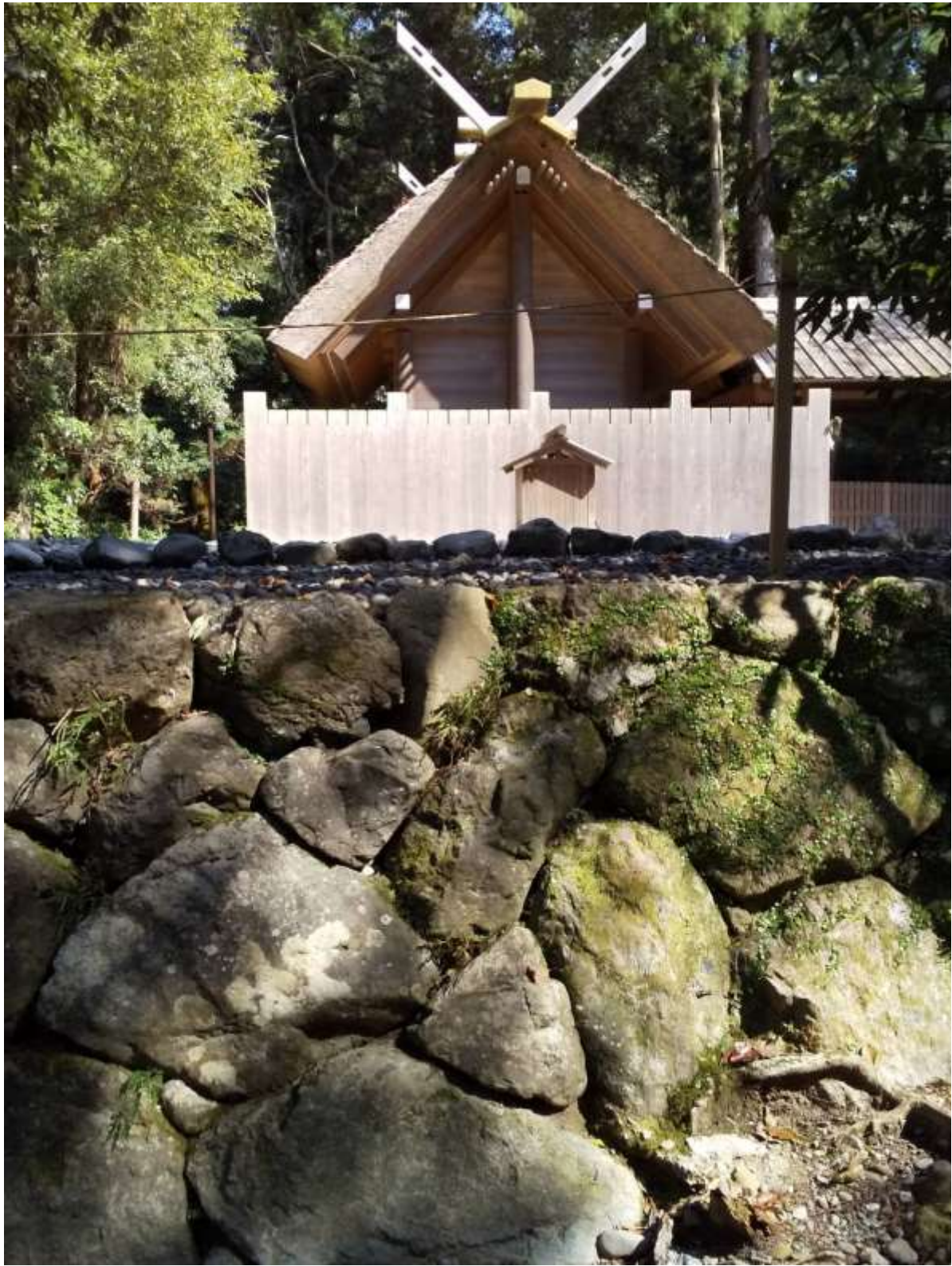


つちのみや  
土宮





かぜのみや  
風宮





鯨幕



み け でん  
御 饌 殿

ひ ご と あ さ ゆ う

日 別 朝 夕

お お み け さい

大 御 饗 祭

忌火屋殿前庭で辛櫃に納めた神饌と神職をお清めする。左の神職が手にしているのは、御饌殿(みけでん)の御扉(みとびら)の鍵

## 日別朝夕大御饌祭【ひごとあさゆうおおみけさい】

三百六十五日、一日二度のお食事を神様に差し上げる

いみびやでん  
忌火屋殿

5



朝食・夕食

## 日別朝夕大御饗祭

神饗は内宮（皇大神宮）・同相殿神・同別宮と外宮（豊受大神宮）・同相殿神・同別宮の六座に捧げられる。準備は身を清めた神職が忌火屋敷（いみびやでん）で、古代のままに火鑽具（ひきりぐ）で忌火を鑽り出すことから始まる



ひきりぐ  
火鑽具

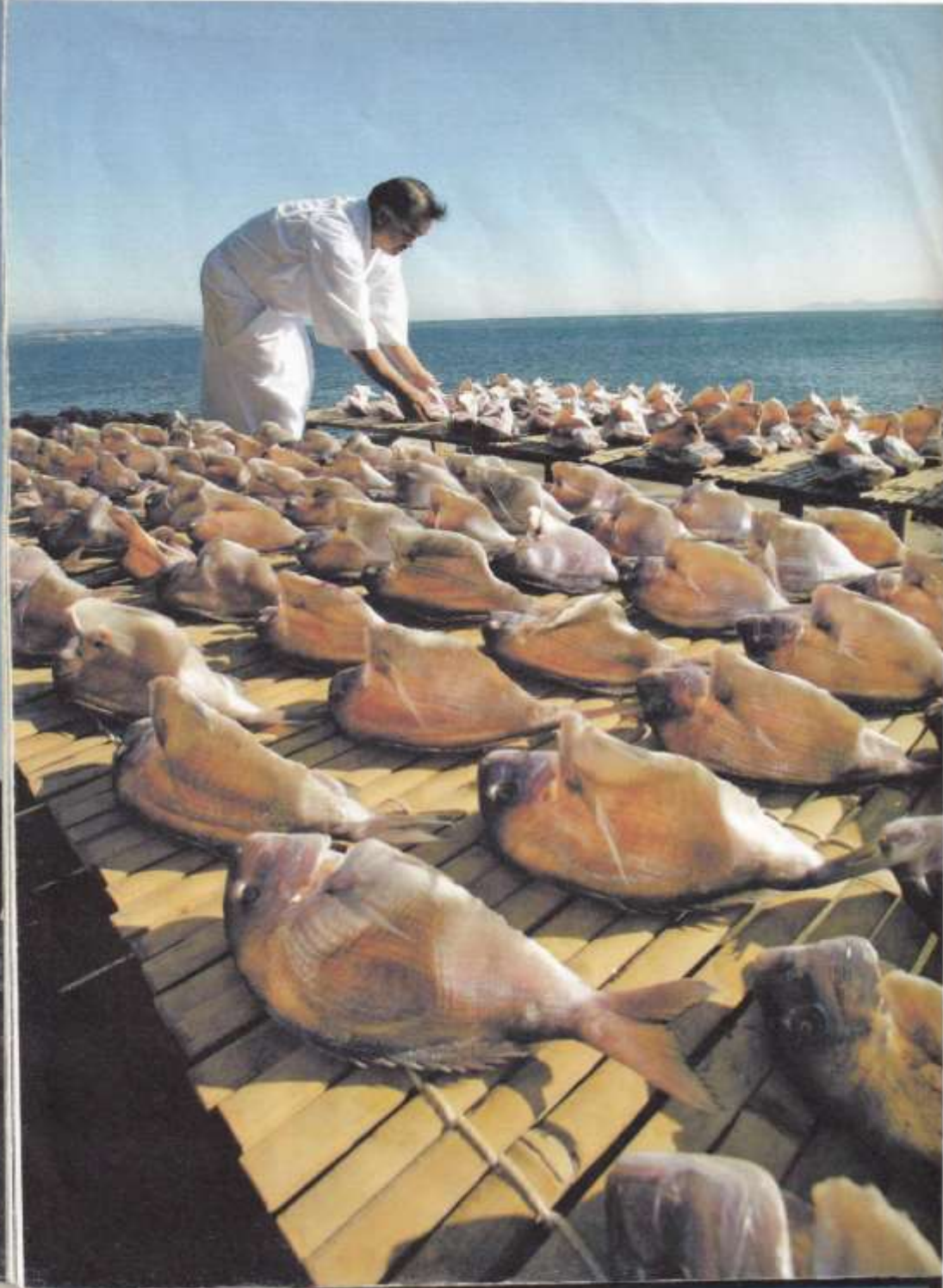




二見町にある塩田



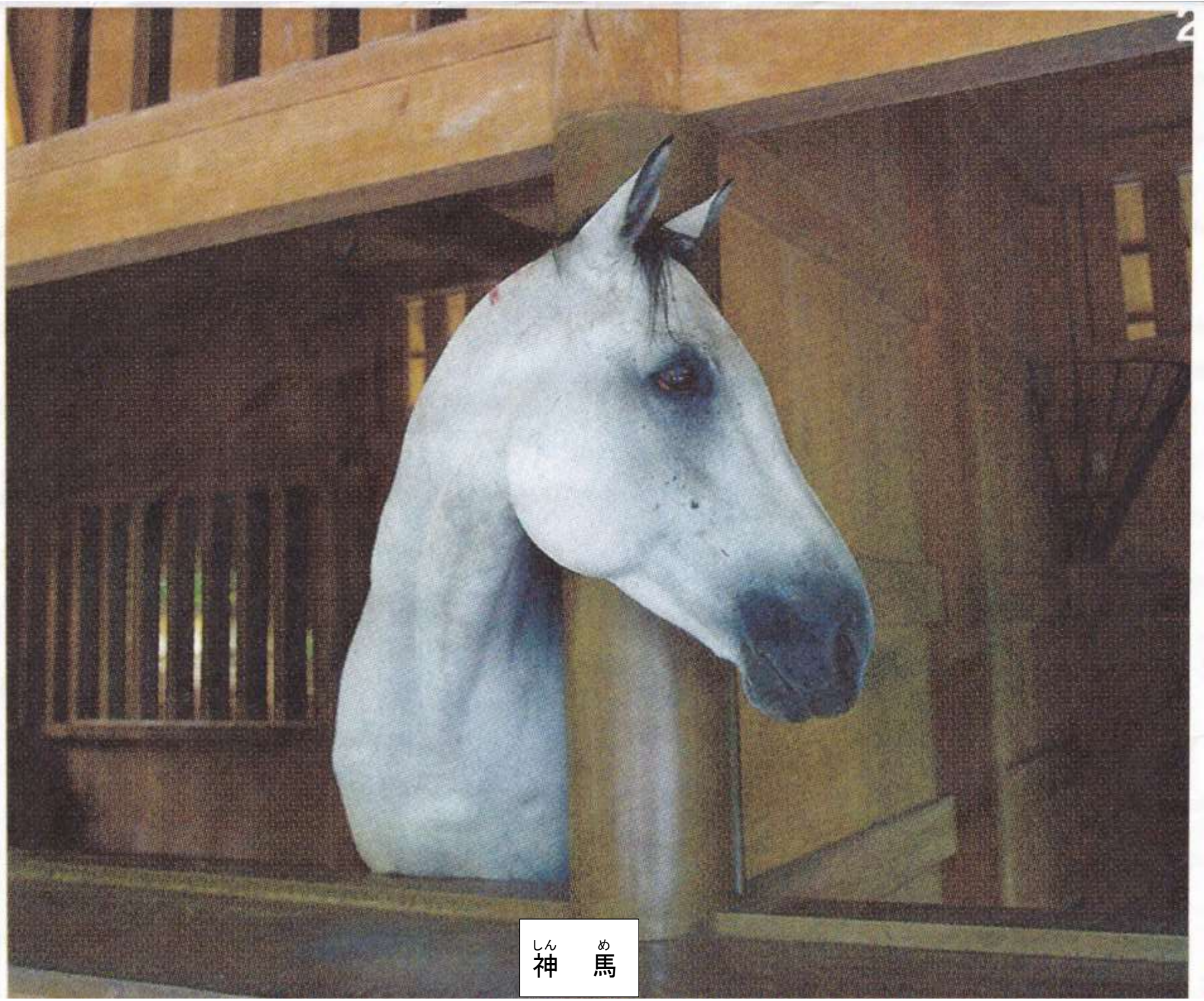
神宮神田



おんべ鯛



から 唐  
ひつ 櫃



しんめ  
神馬



しん め けん さん  
神 馬 牽 参